

コンテンツ強化専門調査会における  
侵害コンテンツ対策に関する主な意見

- コンテンツ産業の強化を図る観点からは、侵害対策の強化と正規版の流通の促進を両輪として進めていくことが重要。
- ニコニコ動画は唯一自主的に違法コンテンツを削除する努力をしている動画投稿サイトと言って良い。今は正直者がバカを見るところがある。海外・国内を含めて一律の規制を義務で課さないという意味がないのではないか。
- 今までのパッケージものをコピーしていた時代とは異なる世界が進みつつある。今までのパッケージものをつぶさないことも大事だが、今後起こることの可能性をつぶさないよう配慮してほしい。
- 「紹介目的のためであれば、この範囲の利用は可能」というような、「コンテンツの紹介のための利用」が促進されるルールづくりが必要。
- 違法配信のダウンロードについて、違法化はされたが、今は罰則が無い。駐車違反の罰則のようなものでよいので、正規版を入手すべきだったと思わせる程度の罰則は必要。
- ファンサブとかスキャンレーションと呼ばれる海賊版により海外で日本のコンテンツがかなり広く普及した背景がある。かつて、日本から正規のスキャンレーション、ファンサブをやるようなサイトをつくりマネタイズを進めるという議論もあったが、出版社が権利を持っていない場合もあり、出版社単独では難しい。
- コミックマーケットでは著作権侵害が行われているが、このくらいは大目に見るべきだと思う。子供にはお金がないため、違法なところで配信を受けて音楽を楽しんでいるが、厳格に取り締ると、裾野を広げられないのではないかという意見もある。